



結小だより

- ★自分で学ぶ子
- ★仲よく助け合う子
- ★自分でできたえる子



子どもたちの力を信じて ～がまだすばい～

校長 中野 由美

長い夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。大きな事故やけがの報告もなく、子どもたちが無事に夏休みを過ごし、新たな気持ちで登校してくれたことを大変うれしく思います。夏休み中、子どもたちはそれぞれの家庭や地域で、さまざまな経験を重ねたことと思います。楽しい思い出をつくるだけでなく、多くのことを学び、成長する時間になったのではないのでしょうか。

私自身は、この夏休みに熊本県で災害ボランティア活動に参加する機会を得ました。そこで出会った子どもたちは、地震によってそれまで当たり前だった生活が大きく変わった状況の中にいました。しかし、その子どもたちは困難に負けることなく、友達と笑顔で過ごし、真剣に学習に取り組んだりする姿を見せてくれました。熊本の方言で「がまだすばい（頑張るぞ）」という言葉がありますが、その言葉どおり前向きに歩もうとする姿に、子どもたちのもつ大きな力を改めて感じました。

その力は、特別なものではありません。本校の子どもたち一人一人も同じように、困難に立ち向かい、よりよく成長していく力をもっています。夏休み前には、時間を守る取組に全校で挑戦し、91%という素晴らしい成果を上げることができました。これは子どもたちの努力の積み重ねによるものです。さらに一人一人が「もう少し頑張ってみよう」「今よりもよくしよう」という気持ちを持ち続けることで、より高い目標にも挑戦できると考えています。

夏休み前しめくくりの取組		
7/13 (月)	7/14 (火)	7/15 (水)
84%	83%	91%

さて、本校では夏休み明けから「第3ステップ」が始まります。今年度の第3ステップの合言葉は「力」です。努力する力、協力する力、最後までやり抜く力。さらに、聞く力、話す力、考える力、やりぬく力、挑戦する力など、子どもたちはさまざまな力を秘めています。これらの力を伸ばし、発揮することが子どもたち自身の成長につながり、学校全体をよりよいものにしていきます。

まけない
たちむかう
力

がまだすばい

授業や行事、日々の学校生活の中で、一人一人が自分の力を伸ばし、仲間と力を合わせながら成長できるよう、教職員一同支援してまいります。保護者の皆様にも、引き続き温かいご理解とご協力をお願いいたします。子どもたちが「力」にあふれた充実した第3ステップを歩んでいけるよう、学校と家庭が連携して支えていきたいと思ひます。

結ぶ手と手が輪になって ～結小学校の輝き～

「ふるさとから世界につながるプロジェクト」

本校では昨年度から、生活科や総合的な学習の時間に、特定非営利活動法人なかよし学園プロジェクトと連携して、「結小学校ふるさとから世界とつながるプロジェクト」に取り組んでいます。昨年度は、まず世界の子どもたちの様子や彼らが抱える問題を知り、日頃の学習を生かして米や防災バッグ、手作りのおもちゃなどを開発途上国の子どもたちに送りました。今年度は、ふるさと安八の自然や文化、人々の温かさなどの魅力を見つめ直し、そのよさを世界の子どもたちと共有する活動へとつなげていきます。児童が、自分たちのふるさとに誇りをもち、世界の人々と心を通わせる喜びを感じてくれることを願っています。

7月10日（金）には、学年ごとに、なかよし学園の中村雄一校長先生の講話を聞きました。戦争や食糧危機などの影響を受けながら懸命に生活する世界の子どもたちの姿を、動画や写真を通して学びました。どんな状況にあっても、どの場所に住んでいても、子どもたちは、美しいものを見たら感動し、友達と遊ぶ時間を楽しいと感じます。大切に思う人がいて、家族や友達との時間を奪われたくないと強く願っています。それは結の児童も同じです。だからこそ、世界の子どもたちを「かわいそうな存在」と捉えるのではなく、同じ願いや思いをもつ仲間として理解し、誰もが安心して幸せに暮らせる社会の実現に向けて自分たちにできることを考え、行動し、発信できる児童を育てたいと考えています。

講話では、「災害が起こったら自分はどうする？」「災害が起こった友達をどう助ける？」「自分の国や町の歴史や文化について、何を世界に伝えるか？」などについて児童がディスカッションする時間もありました。一方的に話を聞くだけでなく、自分で考え、仲間と意見を交流しながら学びを深める貴重な時間となりました。



1年生はさっそく、生活科で育てたあさがおを使って押し花の葉を作り、海外に送りました。押し花ができるまでの過程をまとめ、本も作りました。美しい花を育てられるふるさと安八を実感するとともに、美しいものを見て心穏やかになる時間を世界の子どもたちと共有できる幸せを感じてくれたらうれしく思います。

「薬物乱用防止教室」

7月16日（木）に、6年生を対象に「薬物乱用防止教室」が行われました。学校薬剤師の中西成仁様、保護司の梶井壽雅子様の講話を聞いて、薬との向き合い方等を考える時間となりました。

薬は…間違った使い方をしてしまうと死に至るということが分かりました。実際使用して、依存して薬物をやめられなくなってしまった人もいたことでも分かったので、友達が違法薬物をしていたら止めたいし、自分が誘われてもきっぱり断って、絶対に薬物使用をしたくないです。
（6年 安田紗保さん）

